

## 廃プラスチック回収のお知らせ

平成26年度第3回目の回収を、以下の日程で行います。

回収希望者は、時間厳守のうえ最寄りの回収場所に持ち込み下さい。

なお、各回収日前日までに申込書を本所事業推進課又は各事業所へ提出下さい。

申込書は、本所事業推進課、最寄りの各事業所に備えております。

回収場所	回収日	回収時間
高宮ミルクボーイ	10月27日(月)	午前11時～ 午後3時まで
西部事業所	10月28日(火)	
東部事業所	10月29日(水)	
みわTMRセンター	10月30日(木)	
庄原倉庫	10月31日(金)	午前10時～正午まで

## 平成25年度家畜導入事業互助会の精算 「互助会積立金」全額無事戻し

平成26年9月8日、家畜導入事業互助会要領の第10条に基づき、導入互助運営委員会を開催し、精算の審議を行いました。

この精算の内容は、下表のとおりであり、対象頭数67頭の総額67万円について、無事戻しを行います。

無事戻しの方法は、「平成26年9月分受託生乳販売代金の精算」に併せて乳代加算(平成26年10月20日)し精算を行います。無事戻しの該当戸数は19戸。

【家畜導入事業互助会の精算】

区分	頭数・金額等
互助会費 頭数	67頭
互助会費 金額 ①	670,000円
見舞等収入金額 ②	872,560円
収入合計金額③=①+②	1,542,560円
見舞等支出金額④	872,560円
差引残高⑤=③-④	670,000円
事故・見舞い対象頭数⑥	6頭
無事戻し対象頭数 ⑦	67頭
無事戻し単価⑧=⑤÷⑦	10,000円
無事戻し総額⑨=⑦×⑧	670,000円

## 全酪連の「販売預託事業」を積極的にご利用下さい! 特典:後継牛確保奨励として補助金5千円/頭交付 要件:預託牛に乳用種精液を授精

全酪連では「乳用育成牛斡旋及び初妊牛売買事業(通称:販売預託事業)」に連動して、将来を担う乳用成雌牛を確保し、酪農生産基盤の維持・拡大を支えることを目的として、昨年度に引き続き「搾乳用後継牛確保支援対策」に取り組むことを決定されました。ぜひ全酪連の「販売預託事業」を積極的にご利用下さい。

### 【搾乳用後継牛確保支援対策による補助金交付要件の概要】

#### 1 補助金交付要件

平成26年4月1日から平成27年3月31日までに販売預託を開始した牛であり、かつ、この牛に乳用種雌雄判別精液・乳用種無選別(通常)精液を授精した場合において、該当預託牛の退牧を確認した後に1頭当たり5,000円の補助金を交付します。

また、不幸にして死産、流産した場合であっても補助金交付を行います。

#### 2 申込方法

預託申込時の申込書へ、種付希望欄の第一希望を乳用種雌雄判別精液・乳用種無選別(通常)精液希望とご記入下さい。

## 平成26年度上期体型調査、牛群審査結果 藤本卓氏保有牛 91点 エクセレントに輝く

7月7日(月)~10日(木)の4日間、体型調査、牛群審査を実施しました。

体型調査では15戸108頭の調査を実施し、得点結果は平均79.0点(全国平均79.3点)、後代検定対象牛の最高得点は82点、同期牛も82点でした。

牛群審査では4戸18頭を審査し、平均得点84.9点で藤本卓氏の保有牛が91点のエクセレントに輝きました。

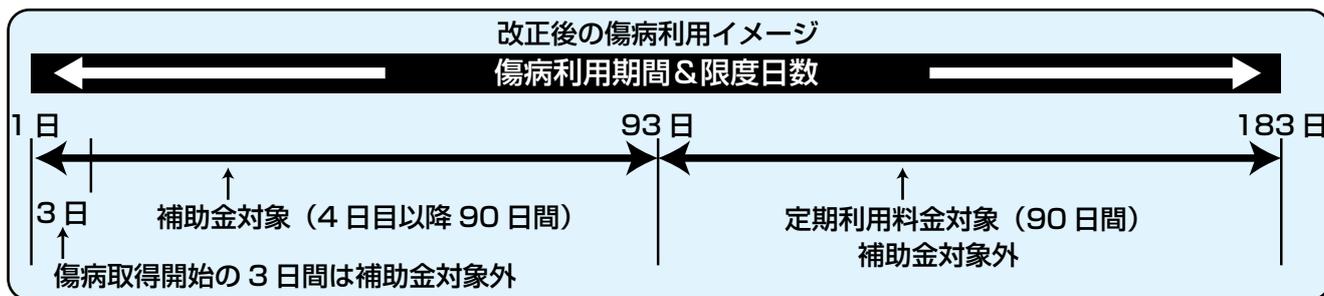
所有者	:藤本 卓氏
名号	:ウイステリア ブツク セント サドウ
生年月日	:平成20年9月8日生まれ 4産 5歳10ヶ月
個体識別番号	:1217356812
父牛	:80H1056

## 酪農ヘルパー事業「傷病時利用補助対象期間」を90日に短縮 平成26年11月1日以後の傷病利用開始分から改定

9月1日開催の第7回理事会において、酪農ヘルパー事業の傷病利用料金に関して、補助対象となる傷病利用期間を180日から90日に短縮することを決定しました。(関連記事本誌12頁の「会議だより」の第7回理事会)

この改正は利用者への周知徹底期間を考慮して、平成26年11月1日の施行とし、施行日以後開始する補助対象の傷病利用が対象となります。

なお、この施行日前から継続する傷病利用は、最大180日迄の補助対象となります。



### (改正経過と決定事項)

- ▼酪農ヘルパー事業の傷病時利用において、同一利用者によって、傷病名が異なり傷病利用派遣が180日を超えて延々と続く実態に対して、この点は見直すべきとの意見が寄せられた。この理由には、傷病利用の当事者に対して酪農ヘルパー傷病互助積立金からの利用料金の補填が続くことで財源に影響を及ぼし、更に定期利用者の定期派遣が出来ない実態が生じることを踏まえたものである。
- ▼この案件について、定期利用者に及ぶ利用希望の充足を満たし、酪農ヘルパー傷病互助基金のことを考慮する中で、酪農ヘルパー傷病時派遣日数に一定の制限を設けるか否かの点に関して、去る8月5日開

催の「酪農ヘルパー事業円滑化推進委員会」に組合長諮問として協議を委ね、その結果を去る8月18日開催の「酪農ヘルパー派遣調整会議」で酪農ヘルパー員にも提案したところ、この内容は適当との見解を得た。

- ▼この経過をもって理事会で審議したところ、一般的に医師による病状観察は3か月を目途とされる状況にあつて、90日を一つの目安として、傷病利用に伴う派遣日数は、原則として180日を限度とするものの、利用開始日から4日目以降(傷病開始日)93日迄の期間は補助金対象とし、94日以降183日迄の期間の利用料金は定期利用料金とすることとした。

column

## コラム

### MILK JAPAN



夏らしい夏、ではなかったよな今年の夏。気温もそれほど上がらず、寝苦しい夜も少なかったように思います。

雨も多く、いろんな事があつた八月ですが、十数年ぶりに海で泳いだり、BBQを楽しんだり、カープを観戦したり(一勝一敗でした)……と振り返れば満喫した夏を過ごしたような気がします。

これからの季節は連休もあり、地域でのお祭りや催しなど多くのイベントが行われる時期でもあります。個人的には西条の酒祭りに行ってみたのですが、お酒を飲むので行き帰りの交通手段に悩むところです。「飲んだら乗るな 乗るなら飲むな」を守って、楽しくお酒を飲みたいですね。

さて、広酪では牛乳普及・酪農への理解醸成のイベントとして「MILK JAPAN in ひろしま2014」を十月十九日(日)に行います。「五感で満喫!酪農体験

1 DAYツアー!!」のテーマに沿ったイベントは、搾乳・ほ乳体験や動物とのふれあいコーナーをはじめ、手作りバター体験、牛乳を使った料理の提供など、まさに「五感視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚」を刺激する内容が盛りだくさんです。

今回のイベントを盛り上げる為に多くの組合員さんにご協力を頂いています。

打合せ会議では、乳和食の試食イベントや昼食のメニュー提案など、組合員の皆さんからのアイデアが出る事でイベントの中身もより詰まったものとなっています。(詳しくは本誌十六頁にて)小さな子ども目には「酪農」がどんな風に見えるんだろう?と興味深くはありますが、イベントを楽しんでもらえるのが一番だなあと思います。

イベント会場は外の為、当日はお天気が気になりますが、一日通して過ごしやすい天気であつて欲しいですね。何かと忙しい時期ではありますが、ご協力頂ける皆様、よろしくお願致します。

(Y・O)